

ご回答いただくにあたってのお願い

この調査では、回収後の入力作業の簡便化・迅速化を図る目的から、マークシートによる回答方式を採用しております。

この調査票(＝<設問冊子>)に、別紙にて<回答マークシート>を挟み込んでおります。ご回答にあたっては、<設問冊子>の設問文をお読みいただきながら、<回答マークシート>の該当欄に対して回答記入をお願い致します。(記入上の注意点については、回答用紙の冒頭に記載しておりますので、ご一読ください)

お手数をお掛けしますが、ご協力賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

～以下の設問にお答えください～

問1：あなたのプロフィールについてお答えください。

(1) 性別 1. 男 2. 女

(2) 年齢 (2015年4月1日現在の満年齢)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20～24歳 | 2. 25～29歳 | 3. 30～34歳 | 4. 35～39歳 |
| 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳 | 7. 50～54歳 | 8. 55～59歳 |
| 9. 60歳以上 | | | |

(3) 学校種

1. 小学校 2. 中学校 3. 高等学校 4. (特別) 支援学校 5. 高等専門学校

(4) 公立私立の別

1. 公立学校 2. 私立学校

(5) 現在の職位

- | | | | |
|-------------------|----------------|---------|--------------|
| 1. 校長 | 2. 副校長 (准校長含む) | 3. 教頭 | 4. 主幹 (首席含む) |
| 5. 指導教諭 | 6. 教諭 | 7. 養護教諭 | 8. 栄養教諭 |
| 9. 常勤講師 (定数内講師含む) | 10. 非常勤講師 | 11. 再任用 | |

(6) 教員経験年数 () 年 (講師経験含む)

(7) 現在の勤務校の勤続年数 () 年目

(8) 担任の有無 (※1. または2. を選択した方は、矢印右側の枠内の設問にもお答えください)

1. 通常学級担任である

(8-2) 担任学年 () 年

(8-3) 担任学級の人数 () 人

(8-4) あなたのクラスには不登校もしくは不登校気味の児童・生徒がいますか? (1. いる 2. いない)

2. 支援学校・支援学級の担任である

(8-5) 担任学年 () 年

(8-6) 担任学級の人数 () 人

(8-7) 担任団の人数 () 人 (複数担任の場合)

(8-8) あなたのクラスには不登校もしくは不登校気味の児童・生徒がいますか? (1. いる 2. いない)

3. していない

(9) 週当たりの持ち時間数（ホームルームを含む）（ ）時間

(10) 担当している部署をすべて選んでください。名称が異なっても類似の部署を選んでください（複数回答可）。

- | | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|--------------|
| 1. 教務部 | 2. 総務部 | 3. 生活指導部（生徒指導部） | 4. 進路指導部 |
| 5. 研究・研修部 | 6. 保健体育部 | 7. 人権教育部 | 8. 児童会・生徒会担当 |
| 9. その他の部署 1（ ） | 10. その他の部署 2（ ） | | |
| 11. その他の部署 3（ ） | | | |

(11) 責任者を務めている校務分掌をすべて選んでください（複数回答可）。

- | | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|--------------|
| 1. 教務部 | 2. 総務部 | 3. 生活指導部（生徒指導部） | 4. 進路指導部 |
| 5. 研究・研修部 | 6. 保健体育部 | 7. 人権教育部 | 8. 児童会・生徒会担当 |
| 9. 学年主任 | 10. 教科主任 | 11. 道徳教育推進教師 | |
| 12. その他の分掌 1（ ） | 13. その他の分掌 2（ ） | | |
| 14. その他の分掌 3（ ） | | | |

問2：現在のあなたの生活状況をお教えてください。

(1) あなたは現在の仕事に多忙を感じますか。

1. 強く感じる 2. やや感じる 3. あまり感じない 4. 全く感じない

(2) あなたの現在の健康状態 1. 健康 2. おおむね健康 3. 健康でない

(3) 配偶者の有無 1. あり 2. なし



<前問で、配偶者「あり」を選択した方だけお答えください>

(4) 配偶者の就労状況

1. 常勤（教職） 2. 教職外フルタイム
3. 非常勤（教職） 4. 教職外パートタイム 5. その他の有職者 6. 無職

<全員がお答えください>

(5) 子どもの有無 1. いる →（ ）人 2. いない



<以下の(5-2)から(5-5)は、前問で、子どもが「いる」を選択した方だけお答えください>

(5-2) 子育てはあなたの仕事のプラスになっている。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

(5-3) わが子のことより、学校や学級の仕事を優先している。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

(5-4) 子育てや家事に時間がとられ、仕事を続けるのが大変だ。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

(5-5) わが子のことでも悩みを持っている。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

<以下の設問は、全員がお答えください>

(6) 要介護者の有無（同居又は近隣に住む家族に介護が必要な方はおられますか？）

1. いる 2. いない

(7) 通勤時間（片道）

1. 15分未満 2. 15分以上 3. 30分以上 4. 45分以上 5. 60分以上 6. 90分以上

(8) 直近の1ヶ月の時間外の勤務時間（持ち帰り仕事含む）はおおよそ何時間くらいですか？

1. 0時間～1時間未満 2. 1～10時間未満 3. 10～20時間未満 4. 20～30時間未満
5. 30～40時間未満 6. 40～50時間未満 7. 50～60時間未満 8. 60～70時間未満
9. 70～80時間未満 10. 80～90時間未満 11. 90～100時間未満 12. 100時間以上

問3：部活動についてお聞きします。

(1) あなたは部活動の顧問をしていますか。

1. している 2. していない

<以下、本ページの設問は、部活動の顧問をしている方のみお答えください>

(1-2) あなたが顧問をしている部活動を選択してください（複数回答可）。

- | | | |
|------------|---------------|--------------------------------|
| 1. 陸上部 | 9. 野球部 | 17. コーラス部 |
| 2. 水泳部 | 10. ラグビー部 | 18. 美術部 |
| 3. テニス部 | 11. バスケットボール部 | 19. 演劇部 |
| 4. 卓球部 | 12. バレーボール部 | 20. 科学部（理科部） |
| 5. バドミントン部 | 13. ハンドボール部 | 21. コンピューター部 |
| 6. 剣道部 | 14. 園芸部 | 22. ダンス部 |
| 7. 柔道部 | 15. 囲碁・将棋部 | 23. 軽音楽部 |
| 8. サッカー部 | 16. ブラスバンド部 | 24. その他（ ）部
(部活動名をお書きください。) |

(1-3) 受け持っている部活動について、自らの経験も含め、専門的な知識・技術を持っていますか？

1. 持っている 2. 持っていない 3. 持っている部もあれば、持っていない部もある

(1-4) 週に部活動にどのくらいの時間を使っていますか。（授業のある1週間についてお答えください）

週（ ）時間程度

(2) あなたの学校では部活顧問をどのように決めていますか。（どちらかを選択してください）

1. 全員顧問制（特別な事情のない限り、全教諭が何らかの部活の顧問に）
2. 希望顧問制（部活顧問をするかしないかは、各教員の判断に任されている）

<以下の設問は、全員がお答えください>

		①あてはまらない	②あまりあてはまらない	③ややあてはまる	④あてはまる
(3) あなたの学校での部活動の現状はいかがですか。					
1	平日の活動に門限があり、守られている。	1	2	3	4
2	平日に、部活指導のない日が設けられている。	1	2	3	4
3	始業前の朝練習は禁止されている。	1	2	3	4
4	土、日のいずれかは、部活動をしない原則があり、守られている。	1	2	3	4
5	部活動は生徒の自治活動の一環であると位置づけられている。	1	2	3	4
6	学年の仕事や特別活動より、部活動指導を優先する顧問がいる。	1	2	3	4
7	「子どものため」といって、顧問を押し付けられる。	1	2	3	4
8	事故があると責任のみが追及される。	1	2	3	4
9	部活の指導に時間をとられ、授業準備の時間を十分にとることができない。	1	2	3	4
10	部活動で忙しいため、教師間の打ち合わせの時間が十分にとることができない。	1	2	3	4
11	クラス活動、生徒会活動、学校行事など、他の教育活動に支障をきたす。	1	2	3	4

		①必要でない	②あまり必要でない	③やや必要である	④必要である
(4) 以下の質問について、あなたの考えはどうですか。					
1	「部活動支援員」を学校職員として配置する。(文科省の構想)	1	2	3	4
2	部活動を民間業者に外部委託する。 (例. 大阪市が 2015 年 8 月よりモデル事業として実施)	1	2	3	4
3	指導資格を持たない外部指導者に対し研修を実施する。	1	2	3	4
4	部活動の顧問を担当するかどうかは、教職員の自由であることを明確にする。	1	2	3	4
5	本務優先の学校運営の原則を明確にする。	1	2	3	4
6	部活動を、自治活動の一環に位置づける。	1	2	3	4
7	教員評価に部活指導を利用しない。	1	2	3	4
8	始業前の朝練は禁止する。	1	2	3	4
9	土日のどちらかは練習を原則禁止にする。	1	2	3	4

問4：学校がしばしば直面する問題について、あなたの学校の全体状況はどうですか。

		① ほとんどない	② あまりない	③ ときどきある	④ よくある
1	いじめ問題	1	2	3	4
2	不登校問題	1	2	3	4
3	授業妨害行為	1	2	3	4
4	授業抜け出し	1	2	3	4
5	学級崩壊	1	2	3	4
6	学校の施設や器具の破壊行為	1	2	3	4
7	暴力問題（家庭内暴力、対生徒・対教師暴力を含む）	1	2	3	4
8	万引き問題	1	2	3	4
9	深夜徘徊	1	2	3	4
10	家出	1	2	3	4
11	喫煙・飲酒	1	2	3	4
12	保護者からのクレーム	1	2	3	4
13	支援を必要とする児童・生徒への対応	1	2	3	4
14	困難な家庭状況の保護者・児童・生徒への対応	1	2	3	4

問5：以下のことについて、あなた自身どのくらい困難や
 悩みを感じていますか？ なお、自分に該当しない設問
 （例えば担任や部活動を持っていない場合）については、
 無回答でお願いします。

	①ほとんど 感じていない	②あまり 感じていない	③やや 感じている	④強く 感じている
1 担任クラスの運営について	1	2	3	4
2 部活指導について	1	2	3	4
3 授業準備・教材研究について	1	2	3	4
4 授業の実施について	1	2	3	4
5 授業評価アンケートについて	1	2	3	4
6 公開授業について	1	2	3	4
7 児童・生徒の学力について	1	2	3	4
8 全国一斉学力調査対策について	1	2	3	4
9 生徒指導・生活指導について	1	2	3	4
10 校務分掌の仕事について	1	2	3	4
11 進路指導について	1	2	3	4
12 特別な支援を必要とする児童・生徒について	1	2	3	4
13 不登校児童・生徒について	1	2	3	4
14 全体的な仕事量の多さについて	1	2	3	4
15 報告書等の事務処理について	1	2	3	4
16 成績処理について	1	2	3	4
17 評価育成システムによって評価されることについて	1	2	3	4
18 同僚教員との関係について	1	2	3	4
19 学年団での協同について	1	2	3	4
20 管理職との関係について	1	2	3	4
21 保護者との関係について	1	2	3	4
22 家庭生活との両立について	1	2	3	4
23 自分の価値観と他の教員や学校の指導方針との食い違いについて	1	2	3	4
24 前任校と現任校との指導方針の違いについて	1	2	3	4
25 小中連携（小中一貫）に関わる業務について	1	2	3	4

問6：以下のそれぞれの質問について、あなた自身やあなたの職場はどのくらいあてはまりますか。

		①あてはまらない	②あまりあてはまらない	③ややあてはまる	④あてはまる
1	生徒についての情報交換を通して意思統一が図られている。	1	2	3	4
2	職員室で気軽に雑談ができる雰囲気がある。	1	2	3	4
3	家族や仲の良い友人と仕事の話をするができる。	1	2	3	4
4	校長や教頭など管理職と教職員の間に信頼関係がある。	1	2	3	4
5	同僚と授業運営や学級経営上の課題について話し合うことがある。	1	2	3	4
6	管理職と教職員とが対立せず同じ方向を向いている。	1	2	3	4
7	職場には助け合える関係がある。	1	2	3	4
8	職場合意がトップダウンではなくボトムアップ的になされている。	1	2	3	4
9	地域や保護者に授業支援や行事などで協力してもらうことがよくある。	1	2	3	4
10	授業や生徒指導の悩みを相談できる人が職場の外にいる。	1	2	3	4
11	PTA活動がさかんである。	1	2	3	4
12	学校や生徒の問題を一人の教員に抱え込ませない雰囲気がある。	1	2	3	4
13	仕事仲間との関係が、教員としての力を高め合うものになっている。	1	2	3	4
14	学校で研修会がよくおこなわれる。	1	2	3	4
15	職場の雰囲気が温かい。	1	2	3	4
16	困ったときは管理職に相談できる。	1	2	3	4
17	教職員で連携のとれた児童生徒指導を行っている。	1	2	3	4
18	教職員の要求や声が集約され、実現される雰囲気がある。	1	2	3	4
19	学校と地域の人との交流が行われている。	1	2	3	4
20	悩みを相談できる同僚教員がいる。	1	2	3	4
21	同僚教員同士で学び合う雰囲気がある。	1	2	3	4
22	何事に対しても協力して取り組もうとする態度がある。	1	2	3	4
23	授業や児童生徒指導に生かせる知識を自主的な研究会等でよく仕入れている。	1	2	3	4
24	課題のある生徒についての情報がよく共有されている。	1	2	3	4

		①あてはまらない	②あまりあてはまらない	③ややあてはまる	④あてはまる
25	職場は民主的な運営がなされている。	1	2	3	4
26	仕事でのストレスを解消できる仲間がいる。	1	2	3	4
27	職場では誰もが安心してものが言える雰囲気がある。	1	2	3	4
28	若い教員をサポートする雰囲気がある。	1	2	3	4
29	新しい授業技法や実践についての知識を同僚同士で交換し合うことがある。	1	2	3	4
30	教員同士の親睦がさかんである。	1	2	3	4
31	保護者ととともに学校をよくしていこうという協同の雰囲気が感じられる。	1	2	3	4
32	安心して働くことのできる、働きやすい職場である。	1	2	3	4
33	保護者とのコミュニケーションがうまくいっている。	1	2	3	4
34	教員がチームになって教育にあたっている。	1	2	3	4
35	学校外の授業研究会などによく参加している。	1	2	3	4

問7：あなたは、以下にあげる仕組み・組織が、学校の運営や教職員同士の意思疎通、児童生徒の教育などのために十分に機能していると思いますか。

		①該当する仕組みや組織がない	②機能していない	③あまり機能していない	④ある程度機能している	⑤十分に機能している
1	教職員会議（職員会議など）	1	2	3	4	5
2	学年会（学年打ち合わせ会）	1	2	3	4	5
3	生活指導部会などの校務分掌部会（打ち合わせ）	1	2	3	4	5
4	支援が必要な児童・生徒についてのケース会議	1	2	3	4	5
5	スクールカウンセラー	1	2	3	4	5
6	児童相談所・子ども家庭センターや警察との連携	1	2	3	4	5
7	校内研修（研究授業を含む）の仕組み	1	2	3	4	5
8	学校内・学校間の親睦行事 具体的な行事名：（ ）	1	2	3	4	5
9	学生インターンシップ・ボランティア・サポーター	1	2	3	4	5

問8：あなたの学校について、総合的に考えて以下の質問に
 教えてください。

①あてはまらない	②あまりあてはまらない	③ややあてはまる	④あてはまる
1	2	3	4

1	私の学校では、効果的な生徒指導（生活指導）ができています。	1	2	3	4
2	私の学校では、効果的な学習指導ができています。	1	2	3	4

問9：あなたは最近つぎのようなことを
 感じる事がありますか。

①まったくない	②ごくまれにある	③まれにある	④ときどきある	⑤しばしばある	⑥たいていある	⑦いつもある
---------	----------	--------	---------	---------	---------	--------

1	疲れる	1	2	3	4	5	6	7
2	ゆううつ	1	2	3	4	5	6	7
3	いい一日だったと感じる	1	2	3	4	5	6	7
4	からだが疲労困憊する	1	2	3	4	5	6	7
5	精神的に疲労困憊する	1	2	3	4	5	6	7
6	幸福感	1	2	3	4	5	6	7
7	ぬけがらになった感じ	1	2	3	4	5	6	7
8	精根つきる	1	2	3	4	5	6	7
9	不幸だと感じる	1	2	3	4	5	6	7
10	すきんだ感じ	1	2	3	4	5	6	7
11	身動きとれない感じ	1	2	3	4	5	6	7
12	自分は駄目な人間と感じる	1	2	3	4	5	6	7
13	うんざりする	1	2	3	4	5	6	7
14	悩んでいる	1	2	3	4	5	6	7
15	人間にあいそがつきむしように腹が立つ	1	2	3	4	5	6	7
16	自分を弱弱しく感じる	1	2	3	4	5	6	7
17	絶望感	1	2	3	4	5	6	7
18	相手にされない感じ	1	2	3	4	5	6	7

		① まったく ない	② ごくまれ にある	③ まれに ある	④ ときどき ある	⑤ しばしば ある	⑥ たいてい ある	⑦ いつも ある
19	楽天的	1	- 2	- 3	- 4	- 5	- 6	- 7
20	元気いっぱい	1	- 2	- 3	- 4	- 5	- 6	- 7
21	不安感	1	- 2	- 3	- 4	- 5	- 6	- 7

問10：あなたは教員という仕事についてどのように思っていますか。

		① そう 思わない	② あまり そう 思わない	③ やや そう 思う	④ そう 思う
1	教員であることは、悪いことより、良いことのほうが明らかに多い。	1	- 2	- 3	- 4
2	もう一度仕事を選べるとしたら、また教員になりたい。	1	- 2	- 3	- 4
3	現在の学校での仕事を楽んでいる。	1	- 2	- 3	- 4
4	自分の学校を良い職場だと人に勧めることができる。	1	- 2	- 3	- 4
5	教職は社会的に高く評価されていると思う。	1	- 2	- 3	- 4
6	現在の学校での自分の仕事の成果に満足している。	1	- 2	- 3	- 4
7	全体としてみれば、この仕事に満足している。	1	- 2	- 3	- 4
8	教職は子どもに接する喜びのある仕事だ。	1	- 2	- 3	- 4
9	教職はやりがいのある仕事だ。	1	- 2	- 3	- 4

問11：教員がバーンアウト（燃え尽き症候群）に陥らず、生き生きと働き続けるために、そして成長し続けるために何が必要だと思われますか。あなたのご意見をお書きください。（自由記述）